

教科名	社会科	科目	地理	週授業時間	2 時間
-----	-----	----	----	-------	------

1.教科書および副教材・参考書

中学生の地理 世界の姿と日本の国土（帝国書院） 中学校社会科地図（帝国書院）
超教科書・manable（帝国書院 ICT 教材）

2.授業の目標および内容

1年次と同様に、地誌学習の基本的立場を遵守し、「ここはどんなところ？」や「なぜこの産業が栄えているのか？」という素朴な疑問に答えるべく、日本全国を地方ごとに分けて学習します。

① 日本の国土の成り立ちと自然に関する理解を通して、国土に関する認識を深めます。

日本の位置、国土の範囲、日本の地形、日本の気候、日本の自然災害などについて学習します。またそれぞれを分断して考えるのではなく、地形と産業や気候と農業など、様々な要素を包括的に捉えながら、知識を深めていきます。

② 日本のさまざまな地域の自然環境や産業に関する理解を深め、地理的な見方や考え方を培います。日本を九州・四国・中国・近畿・中部・関東・東北・北海道の各地方に分け、地方ごとに地形・気候などの自然環境、農林水産業・鉱工業などの産業、都市と農村の問題点などについて学習します。またこれらにおいても、地方同士のつながりを意識し、限定的に地方のみにフォーカスするのではなく、日本全土の中の地方といった大きな視点を併せ持ち、物事はすべてどこかでつながっており、自然・人間問わず互いに影響しあっていることを考えていきます。

また、この他にも近年の国際社会の重要な課題ともなっている「持続可能な社会（SDGs）」についても生徒たちの生活の中から、その関連性や解決策を探求する実践例を取りあげていきたいと思います。

3.試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月
学力試験					

内容・難易度について

定期試験：50点満点で行います。出題範囲はその都度発表します。

（歴史とあわせて100点満点となります）

授業で学習した範囲で出題し、主に基本的な知識を問う問題です

※学期の評価は、地理・歴史を合算し、「社会」の1教科として評価します。

4. 課題・補習について

適時行います。

5. 評価の視点

地理についての知識・理解度・資料活用の技能・表現などを総合して評価します。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	日本とその地域 世界から見た日本	日本の位置と領域 世界から見た日本に位置をさまざま 地図から学習します。	教科書 P.142～168
	国土の成り立ちと自然 日本人々の生活	日本の地形や気候について地域ごとに 区分しながら学習します。 地域ごとによる自然災害など	
	日本の諸地域 九州地方	九州地方全体について学習します。 大陸とのかかわり 変化する北九州工業地帯 有明海周辺の低地の農業 火山地域に住む人々の暮らし 沖縄などの離島の人々の暮らし	教科書 P.171～186
2	日本の諸地域 中国・四国地方	中国・四国地方について学習します。 中国・四国地方の自然環境 交通網の整備と人々の生活の変化 海外と結びついた瀬戸内の工業 全国展開をすすめる農業	教科書 P.187～202
	近畿地方	近畿地方全体について学習します。 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏 古都奈良・京都と歴史的景観の保全	教科書 P.203～218
	中部地方	中部地方全体について学習します。 自動車の生産が盛んな中京工業地域 交通網が発達した東海の農業 中央高地・北陸の農業	教科書 P.219～234
	関東地方	関東地方全体について学習します。 日本の首都、東京 拡大する東京大都市圏 大都市周辺の農業と山間部の過疎化	教科書 P.235～252
3	東北地方	東北地方全体について学習します。 寒い夏に対する稲作と畑作の努力 果樹栽培の発展と生活の中の漁業 発展する工業と生活の変化	教科書 P.253～268
	北海道地方	北海道地方全体について学習します。 自然環境を克服した稲作の歴史 大規模化した畑作や酪農、漁業 歴史や自然を生かした観光業	教科書 P.269～284